

受講対象者

受講対象者は右記の表に掲げる範囲の中小企業および個人の経営者、管理者、従業員、後継者の方々です。企業の資本金または従業員数のいずれかが右記の範囲内であれば受講できます※。

※多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参頂くことが受講要件となりますが、ご対応頂けない場合などには、受講をご遠慮頂くことがありますので、あらかじめご了承ください。

業種	資本金	従業員数
製造業・運輸業・建設業・ソフトウェア業・情報処理サービス業ほか	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下

受講申込みの流れ

1 HPから申込み

中小企業大学校関西校ホームページの各研修ページよりお申込みください。

<https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/>

関西校



2 確認メール

申込みが完了しますと、「事務連絡先担当者」のメールアドレスに、確認メールが送信されます。

3 受講決定通知書送付

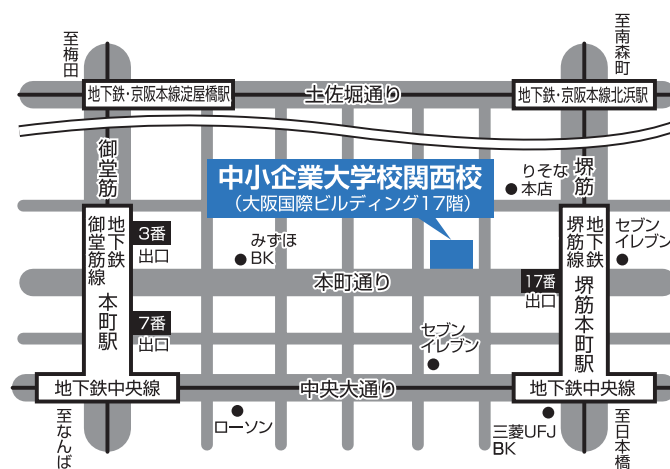
開講のおおむね1か月前に「受講決定通知書」が送付されます。受講料のお振込みのご案内、カリキュラム等が同封されます。

4 受講料振込

所定の期日までに受講料をお振込みください。

5 ご受講

研修開始時間までに会場にお越しください。



アクセス

大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング17階

Osaka Metro (大阪メトロ)

- 堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分(17番出口)
- 御堂筋線・中央線「本町」駅から徒歩5分(3番・7番出口)



高度実践型 経営力強化コース

ケースメソッドで磨く
経営者の意思決定力

研修のねらい Concept

感染症の世界的な拡大を契機として、企業も個人も従来の生活様式からテレワーク等に代表される非接触型の新しい様式への移行を余儀なくされており、こうした状況が、5G、AI、IoT、ロボットなど、デジタル化の急激な進展に拍車をかけています。

このような急激な環境変化に迅速に適応し、自社ビジネスの変革へ取り組んでいくために、経営の中核を担う人材には、論理的な思考に加え、データに基づいた思考や新事業を産み出す柔軟な発想法、組織一体で実行していく力など、経営課題に対峙する多面的な力の向上がより一層求められます。

本研修では、企業経営の現場で直面する経営課題や意思決定が求められる場面を再現したケース研究を通じて、経営分析手法やフレームワークを活用しながら、複雑に絡み合う要素を紐解く問題解決力と最適な意思決定ができる経営力を身につけます。

研修の特徴 Feature

経営の現場を疑似体験するケースメソッドによる研修です。様々なケース(実際に企業や組織が直面した経営課題)に対する分析・討論を通して意思決定力を磨き、自社の経営を見つめ直すことができます。

総合演習を通じて、経営者に求められる7つのスキル(洞察力・思考力・分析力・統合力・戦略立案力・意思決定力・合意形成力)の習得を目指します。

大学院やビジネススクールで教鞭を執る講師陣の指導により、最先端の実践的な学びが得られます。

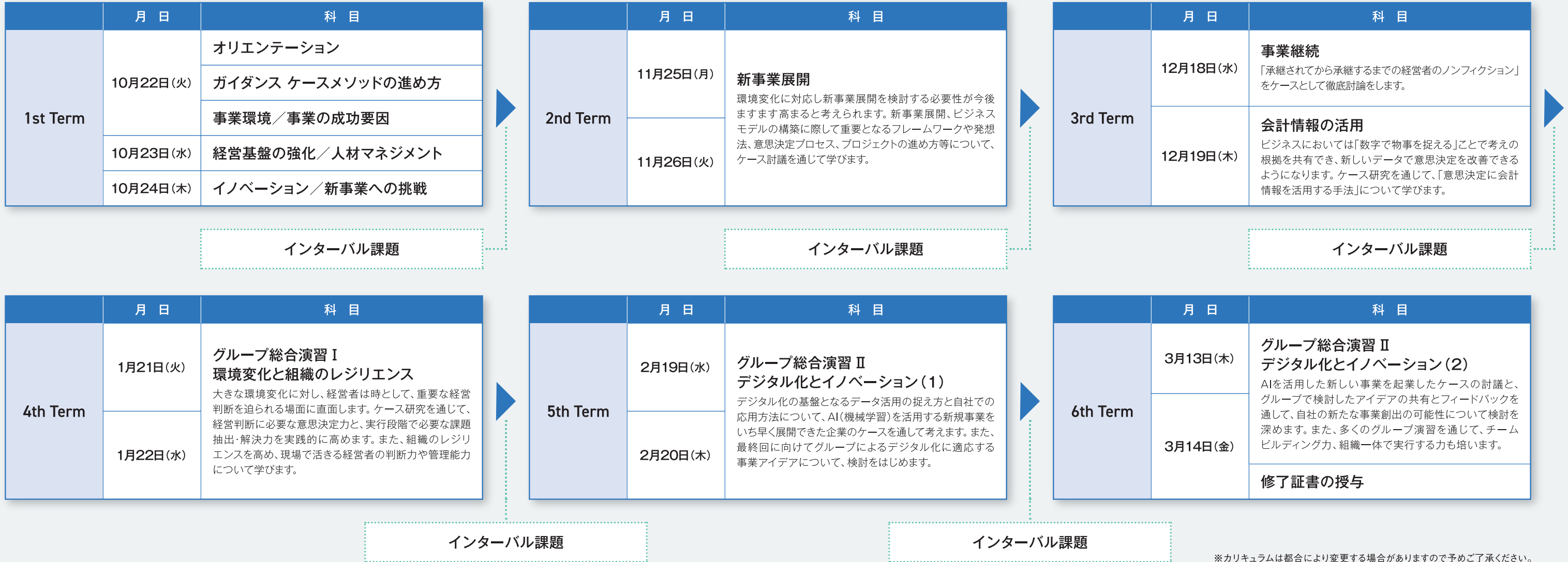
■ カリキュラム Curriculum

本コースではケースメソッドを採用しています。基本的に

1 ケースガイダンス → 2 個人ワーク → 3 グループ討議 → 4 クラス討議

の流れで進めていきます。コース後半では、具体的なケースを使用したグループ総合演習に取り組みます。総合演習を通して、組織一体で実行する力を身につけます。

※各回のインターバル期間中に、次回のケース教材の読み込みと自身の見解をまとめる事前学習や、グループでの事前討議などの課題が出ます。



※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

■ 講師陣 Instructor

名古屋商科大学大学院
マネジメント研究科 教授

竹内 伸一 (たけうち しんいち)

1988年早稲田大学教育学部卒業。マツダ株式会社を経て、2004年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了、修士(経営学)。2011年慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学、2015年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了、博士(教育学)。2004年筑波大学大学研究センター客員研究員、2006年慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究助手、2007年特別研究講師、2011年特任准教授。2016年徳島文理大学人間生活学部教授。2018年4月より現職。

金沢工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科 教授

村上 敏也 (むらかみ としや)

1997年慶應義塾大学環境情報学部卒業。学生時代より複数のITベンチャーにて奔走し、技術担当役員などを経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)、博士(経営学)。東京工科大学・多摩大学・立教大学等での非常勤講師の後、県立広島大学大学院経営管理研究科准教授を経て2018年4月より現職。認定ケースメソッド・インストラクター(慶應ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室)。広島県「チームイノベーション道場」教育プログラム開発実証委員。慶應義塾大学ビジネススクール非常勤講師。

青山学院大学大学院
国際マネジメント研究科 教授

黒岩 健一郎 (くろいわ けんいちろう)

1990年早稲田大学理工学部建築学科卒業。住友商事株式会社を経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了。修士(経営学)。同大学院後期博士課程単位取得退学。博士(経営学)。2003年武蔵大学経済学部専任講師、准教授、教授を経て2014年より現職。専門はマーケティング論。認定ケースメソッド・インストラクター(慶應ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室)。主著に「ケースメソッドの教科書 これさえ読めば授業・研修ができる」(2022年、碩学会)「サービス・マーケティング コンサル会社のプロジェクト・ファイルから学ぶ」(2021年、有斐閣)など。

丸尾経営教育研究室
代表

丸尾 聰 (まるお あきら)

東京藝術大学卒業、東京理科大学大学院修士課程修了。事業理念をデザインする会社を起業後、株式会社日本総合研究所の立上げに参画。顧客と協働して、事業づくりと人づくりを推進する「合弁事業設立型経営コンサルティング」モデルを構築。さらに、合併企業を株式上場まで牽引。他方で中山間地域において、異業種交流の成果を事業化。駒澤大学、上智大学大学院などの講師として、学生のアイデアを事業化。現在は、大企業の新規事業人材育成の研修講師として従事。事業構想大学院大学教授 兼 事業構想研究所副所長。慶應義塾大学ビジネススクール講師。

立命館大学大学院
経営管理研究科 教授

水野 由香里 (みずの ゆかり)

1998年聖心女子大学卒業。2000年一橋大学商学研究科修士課程修了、2005年同博士後期課程単位取得満期退学。2019年東北大学博士(経営学)、2005年独立行政法人中小企業基盤整備機構リサーチャー、2007年西武文理大学サービス経営学部専任講師、2013年准教授、2016年国士舘大学経営学部准教授、2018年教授、2021年4月より現職。代表的な著書に「小規模企業の特性を活かすイノベーションのマネジメント」(2015年、碩学会、2016年度「中小企業研究奨励賞」受賞)、「戦略は「組織の強さ」に従う」(2018年、中央経済社)、「レジリエンスと経営戦略」(2019年、白桃書房)、「エビデンスから考えるマネジメント入門」(共著、2022年、中央経済社)、「ケースメソッドの教科書」(共著、2022年、碩学ビジネス双書)がある。

■ 受講者の声 Voice of Customer

① 30代 役員

本研修を通じて、意思決定をする際に理由やメリット・デメリットを書き出す事が習慣化できました。これまでは自身の頭の中で考えて決断を下す事が多かったのですが、グループワークなどを通じて、アウトプットする・見える化することの効果を実感できました。また、本研修を通じて「学びの場」の雰囲気が醸成されていることで、たくさんの学びがあったと感じました。当社も意欲をもった学びの集団に成長していきたいと思います。

② 30代 管理職

印象的だったのは、これだけ分析や討論をしてもたどり着いた答えに正解がないということです。こう導くのが正解というものではなく、建設的な批判も交えながら意見を出し、普段以上に自分の言葉でどう伝えるか、相手に伝わるにはどう言うか、相手の意図をどのように汲み取るかを意識したように感じます。また、ケースメソッドの心構えである「勇気・礼節・寛容」は今後も意識しようと思います。